

「学校とPTAと地域の連携について」グループディスカッションまとめ

No.	校種	種別	内容
1	小	C.School	全保護者がコミュニティースクールについて説明を受けなければはわからない。わかりやすい発信を。
2	小	C.School	コミュニティースクールの運営や地域連携に関して、先生方の働き方改革とのバランスが重要
3	小	C.School	コミュニティースクールは今日初めて聞いた。地域と交流があったり無かったり学校・地域によって違う。
4	小	C.School	PTA会長は地域の様々な団体に出向くが、コミュニティースクールができて同じ顔ぶれにならないか心配
5	小	C.School	コミュニティースクールをやっているがPTAにまったく情報が入ってこない。
6	小	C.School	学校によっては下校時の旗振りや見守りなど業務外だとして手放してPTAに渡そうとしている。その点、自治会に協力要請すると進みやすい。コミュニティースクールを作ってもらえるとPTAより広い地域資源が活用できる。
7	小	C.School	状況は変わらない意味があるのかな 不登校対策で居場所作り A84:D90学校の問題に意見が言える 評議会はイエスマンが多い
8	小	C.School	校長の裁量、性格に差がある コミュニティースクールという名前から役割がわからない
9	小	C.School	状況は変わらない意味があるのかな 不登校対策で居場所作り 学校の問題に意見が言える 評議会はイエスマンが多い
10	小	課題	一般開放の教室が設置されているが、説明会もなく周知が十分でなく、うまく連携できていない。
11	小	課題	学校側の思いと保護者の思いがかみ合っていない。学校の考え方が伝わってこない。
12	小	課題	PTA役員が単年になってしまい、地域とのつながりまでいけない。
13	小	課題	旗振りについて 3歳以下がいない家庭で学期2回 地区委員が1年任期なので改革できない 自治会の方とのパワーバランス
14	小	課題	見守り隊 高齢化 定年延長で人が居ない 下校時の実施が難しい 校長が替わると変わる
15	小	課題	登校班 1年生と6年生の歩くスピードが違う 子ども同士のトラブル 登下校は保護者の責任
16	小	課題	自治会が見守り隊に対して親が見るべきものと考えている
17	小	課題	地域との連携が密になっていない。学校は学校、自治会は自治会 地域は活動を求めている 地域が一つではない
18	小	課題	自治会離れ 子ども会がなくなる コロナ禍で関わりが希薄になってきている。
19	小	課題	子ども会、大きい自治会など関係性を維持できている。地域の流れを知らない人がPTA副会長になると止めてしまう。
20	小	課題	自治会に加入しないと、登校班に入れない。
21	小	課題	PTAの加入が少なく、子ども会に入っていない人も多い。自治会には加入している。
22	小	課題	安全ボランティアが高齢化して心配の声が家族から上がっている。
23	小	課題	子ども会は3年前まであったが、今はなくなった。 子ども会はほぼ無くなった。 コロナ禍でイベントがなくなったまま
24	小	課題	登校班問題 子ども会加入の有無 PTA加入の有無で 個人登校している児童 関係なく集団登校している児童
25	小	課題	見守り隊の人員不足 高齢化 担い手不足 共働き夫婦が多い 感謝を伝える会の回数を増やす
26	小	課題	サマースクールをボランティアで行っている コロナ禍以前に戻す必要があるのか、不要なのか

「学校とPTAと地域の連携について」グループディスカッションまとめ

No.	校種	種別	内容
27	小	課題	職業とやっている教師とボランティアとしてやっているPTAと、前提となる土台の違いを感じることもある。
28	小	課題	PTAと地域の連携の仕方がわからない 地域への投げかけ方がわからない
29	小	課題	PTA役員の情報量によって地域との連携の濃さが変わってくる
30	小	工夫	お手紙や紙ベースだと捨ててしまったり、無くしてしまったりするので、電子媒体を使う方法がよい
31	小	工夫	地域の人の中から講師を探しも良いのでは
32	小	工夫	学校の下校時刻に地域に放送を入れて、地域のお年寄りに呼びかけ、散歩のついでに見回りをお願いしている。
33	小	工夫	学校が合併するので、2校合同でふれあい集いを開催する。
34	小	工夫	お父さん役員や子ども役員など自然とPTAとのつながりができる。
35	小	工夫	学校の手伝い（授業、花壇）を保護者や地域にネットで募集している。（サブスクアプリcocoo活用）
36	小	工夫	学校だけのイベントにPTAも入り参加していけるといい。
37	小	工夫	交通安全 登校班の見守りボランティア 保護者への啓蒙をしていくべき
38	小	工夫	登校班の管理を育成会が以前やっていたがPTAが管理するようになる。保護者が当事者意識を持って積極的に参加すること必要
39	小	工夫	子ども向け民間企業に声かけして、見守りのサポートをしてもらうことを模索している。
40	小	工夫	学校とPTAだけだと解決できない様々な課題（見守り等）があるが、より広く地域資源が活用できれば、課題へのアプローチがしやすい
41	小	工夫	周年行事で地域を巻き込んで盛り上げる方法もある
42	小	工夫	子どもは地域に守られ支えられている（登校班や旗振りなどにもボランティアで協力してくれる）子どもの安全だけではなく、食や遊び、お祭りなど子どもの楽しみにも繋がっている。新しい時代の変化を取り入れながらも地域の伝統を守りながら協力していきたい。行事等にも参加してもらうことでつながりを守っていきたい。
43	小	現状報告	田舎の方は連携が当たり前に行われている。地域の人と一緒に子育てをする環境。
44	小	現状報告	ロマンスカー遠足、大凧祭り、木工教室、子どもも運営に携わる周年行事、野菜作り、ふるさと祭りや公民館祭り
45	小	現状報告	地域の会議で意見を伝える。学校サポート 自治会長も含めたPTCA組織 廃校後の跡地活用会議への出席
46	小	現状報告	地域主催PTA共催のふるさと祭り
47	小	現状報告	見守りボランティア（20人くらい）を学校が管理してくれている。
48	小	現状報告	登下校の見守り 読み聞かせ 避難所設営
49	小	現状報告	商店街と協働し大学とも連携し子ども達と一緒にメニューを決めたり、テーマソングを作ったりしている。
50	小	現状報告	学校が主導の「はやぶさ協議会」があり、PTAはオブザーバーとして参加している。
51	小	現状報告	PTA会長の関係性でいろいろな講演会ができています。 津久井大豆で味噌を造っている。 学校農園を地域が手伝っている。

「学校とPTAと地域の連携について」グループディスカッションまとめ

No.	校種	種別	内容
52	小	現状報告	学校に田んぼがあり、田植えから地域と行っている。 大凧イベントに地域・学校ともに参加している。
53	小	現状報告	公民館とのイベントが多くあり、子どももイベント企画会議に参加している。 地域と子どもをつなげているのはPTA
54	小	現状報告	それぞれの地域性が出ていて、とてもよい取り組みができています。
55	小	現状報告	今の校長が力を入れているので、地域とスポーツ・体育の授業での交流がある。ママさん先生が先生を手助けしている。
56	小	現状報告	地域の方が授業として田植えや畑仕事を毎年行っている。資源回収も地域の方に協力してもらっている。
57	小	現状報告	自治会や地域のお祭りの手伝いに呼ばれたりする 呼ばれない地域のPTAもある
58	小	現状報告	地域との連携は密で、細やかに情報の共有ができています
59	小	現状報告	地域のお祭りや街づくり会議など、地域が参加する会議にはPTAも参加している。
60	小	現状報告	職業体験で地域の商店街に協力してもらっている。
61	小	現状報告	市内でも高齢化が進んでいる地域だが、高齢者が大変元気な地域でもある。自治会関係が関わる会議にはPTAも大体参加している。
62	小	現状報告	自治会の祭りに会長と校長が参加 公民館は本部から参加 登下校の旗振りは学校からお願いと市から有償で依頼
63	小	現状報告	地域と連携していない 旗振りは学校からボランティア制で依頼 小学1年生に地域の方が付き添う
64	小	現状報告	在来大豆の栽培を小3と地域で
65	小	現状報告	見守りボランティア サッカー教室 子どもと一緒にの行事は難しい 校長と保護者はPTAがパイプ役
66	小	現状報告	保護者ボランティアで水泳、読み聞かせ、木工、算数
67	小	現状報告	自治会の力が強いと介入したり、システムの改変がしにくい面があるが、自治会を中心とした地域の力が必要不可欠でもある。
68	中	C.School	コロナ禍で地域との繋がりがなくなった コミュニティースクールへの参加は大賛成
69	中	C.School	コミュニティースクールになったら何がしたいか、何をしてもらいたいのか
70	中	C.School	コミュニティースクールを実施している。愛あーるネット 自治会連合会長、元PTA会長、公民館長、民生員で主に不登校対策
71	中	C.School	コミュニティースクール実施校 学校側と自治会長、PTA、大学教授、民生員で構成 不登校対策でゆりの木ルームを設置
72	中	C.School	コミュニティースクール実施校のメンバー構成が学校評議員会と同じメンバーとなっている。その違いがはてな
73	中	C.School	コミュニティースクールによって、各学校の特色を生かした活動ができるのではないかと思います。
74	中	C.School	コミュニティースクール実施 月曜日に部活がない日に地域の方が1時間くらい勉強を見てくれる。自由参加
75	中	C.School	桜美林の先生が英語を教えに来てくれる。
76	中	課題	災害時の初動訓練に中学生も参加していたが今はなく、地域から要望しても学校側は断る
77	中	課題	コロナ禍をきっかけにいろいろと縮小され、地域とのつながりが希薄になってきている

「学校とPTAと地域の連携について」グループディスカッションまとめ

No.	校種	種別	内容
78	中	課題	一緒に遊んでくれる大人が必要
79	中	課題	中学生は地域の財産という校長 学校ごとの温度差がある
80	中	課題	中学生の地域との関わりが離れていく 距離感が難しい
81	中	課題	学校が地域との関わりをどう思っているのか聞いたことがない 働き方改革を意識している
82	中	課題	目的（何をするのか）がはっきりしないと関わりづらい
83	中	課題	関心のない人も多く地域と関わるのが難しい 中学校はその姿勢がより強いかも
84	中	課題	コロナ禍で諸々の行事が中止になり、そのまま復活していないところが多い。 まつりをやっても参加が少なくなっている。
85	中	課題	コミュニケーションをとろうと、相模湖ブロックバレーボール大会を開催を呼びかけるが消極的
86	中	課題	習い事が増えて、地域行事に誘いにくくなってきている。
87	中	課題	上の世代と下の世代を結びつけるのが難しい。
88	中	工夫	中学2年生が地域の方と地域について話し合う日がある。
89	中	工夫	PTAの会議等子どもと一緒にzoomで見たり、参加したりすることで、ハードルが下がるかもしれない。
90	中	工夫	子どもと地域は職業を活かして関われる。子どもと高齢者は高齢者が先生として関われる 子どもとPTAは一緒に活動する
91	中	現状報告	周囲からの要望で花壇ボランティア、校内ビーチバレーボール大会など復活（学校は職員参加反対だが何人か出てくれた）
92	中	現状報告	あまり連携がない
93	中	現状報告	子どもに地域を意識させることも特にしていない
94	中	現状報告	中学校校庭でふるさと祭り 美術部の作品展示 吹奏楽部の地域行事での演奏
95	中	現状報告	歴代校長、PTA会長の組織があり備品購入など支援している。 自治会を抜ける人が多くなっている
96	中	現状報告	年2回PTA主催で地域ふれあい活動をしている（茶摘み 光明太鼓演奏）
97	中	現状報告	スクールカウンセラーでなく民生委員の話し相手としての役割は、地域で見える対応をするためでは
98	中	現状報告	和太鼓の演奏を地域で披露している。茶畑がある これからまた復活させたい。
99	中	現状報告	地域と一緒に夏祭りを行っている。スポーツフェスティバルは地域と一緒に子ども達も参加している（500名ほど参加）
##	中	現状報告	駅前のイベントに吹奏楽が参加 職業体験で地域に入っていっている。
##	中	現状報告	地域づくり協議会があって、地域から声を出してくれる。
##	中	現状報告	職業体験、職業講話でつながっている。